



新告知温



熱中症にならないためにやるべきことを再確認しよう！



高温多湿な環境下で大量に発汗するのを放置していると重症化が進み、致命的な熱射病に至ります。

★Ⅰ度(軽症)

大量の発汗

熱失神→めまい、立ちくらみ、生あくび

熱けいれん→筋肉の痛み、こむら返り

★★Ⅱ度(中等症)

熱疲労→頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感、集中力や判断力の低下

★★★Ⅲ度(重症)

熱射病→意識障害、全身のけいれん

★★★★Ⅳ度(最重症)

熱射病→Ⅲ度(重症)のうち、深部体温が40℃以上、かつ意識疎通が難しくなった状態を示した場合

作業前のセルフチェック



片足立ちをしてもらい、平衡感覚に違和感がないか確認してみましょう。
体調がよくなないと平衡感覚が鈍ります。



【今号の主な内容】

- P① 熱中症にならないために
- P② 安全大会振り返り
- P③ ボーリング大会・懇親会
- P④ ことわざ・次回案内



発行

野田工業 株式会社
東京都中央区銀座6-6-19
TEL: 03-3572-1866

ことわざ・格言にならう安全衛生訓

● 舟に刻みて剣を求む ● ・変化を読んでの的確に対応を



「舟に刻みて剣を求む」とは、舟で川を渡っていた男が、舟から剣を海中に落としてしまい、その剣の落とし場所の目印にと、舟べりに小刀で印をつけてから、舟のここから刀が落ちたのだといって、向こう岸に着いてその舟の場所を捜すような行為。動いている雲を目印に餌を蓄えるといわれる「烏の雲だめ」ということわざも同じような意味です。つまり、情勢の移り変りを配慮しない行為を戒めたことわざです。

私たちの日常生活の中でも、そんな事例はないでしょうか。「たしかにあの時はそうだったのに…」、「あの時、点検したときは何でもなかったのに…」と、その後の変化を見通せず、大失敗をしたことはないでしょうか。

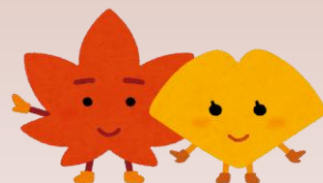
人も物も、世の中のすべてのものは常に変化していると考えてよいでしょう。職場の設備や環境、作業条件などについても刻々と変化していると考えerべきです。この変化している現象をきちんと把握して的確に対応していくことが肝要です。

【 職長会のお知らせ 】

★日時 2026年9月14日(月)

★時間 18時00分～

★会場 銀座ユニーク



ボーリング大会



懇親会



2026年度 安全大会



ダイダン株式会社 東京本社安全部
塩見 公利 様
お忙しい中、ご講話いただき誠にありがとうございます。



上原保温(株)
上原 卓也



(有)小林断熱
渡邊 直貴



(株)NODAST
小川 和之



野田工業(株)
チャン ミン トウアン



亮一(株)
大川 宝成



(同)川目設備工業
三堀 智



今後とも無事故無災害を目指して安全作業のご協力よろしくお願いいたします。

安全宣言
受賞者代表

